

しめやかに町葬を挙行

前幌延町長

故上山利勝氏の遺徳を偲んで



ありし日の上山利勝氏

去る五月七日午前二時十分、転移性肺腫瘍にて永眠されました前幌延町長上山利勝氏（満八十一歳）の町葬が、五月九日（通夜）、五月十日（告別式）の両日、幌延町公民館においてしめやかに執り行われました。上山利勝氏は、昭和二年五月一日に樺太豊原郡豊原町（現サハリン州ユジノサハリンスク市）でお生まれになり、昭和二十年、終戦により幌延村字オトソルイ（現浜里）に引き揚げ、農業に従事されました。家業の農業に精を出しながら、昭和三十年五月に幌延村議会議員に立候補し、見事初当選を飾りました。その後連続八期三十一年の永きにわたり議会活動を積極的に続け、昭和四十六年



に副議長、昭和五十四年には議長に就任されています。昭和六十二年には、幌延町長に当選され、以来四期十六年にわたって幌延町の産業経済、教育文化、福祉の向上などに手腕を発揮されてきました。特に「幌延深地層研究センター」の誘致、「金田心象書道美術館」の建設など、強い信念と行動力をもって地域の振興、文化意識の向上のために大きな功績を残されました。

で、将来を見据えた卓抜した政治センスで幌延町振興に尽くされ、その偉大なる功績により、平成五年に藍綬褒章（自治功績）、平成十六年には旭日小綬章（自治功勞）に表されました。通夜、告別式には鈴木宗男衆議院議員、飯島夕雁衆議院議員をはじめ、近隣の町村長、町村議会議長などを内外の多くの方々の参列をいただき、厳粛に執り行われました。故上山利勝前幌延町長の偉大なるご功績を讃え、安らかなるご冥福をお祈りいたします。



五月十二日、前町長故上山利勝氏のご遺族より、町に社会福祉施設建設指定寄付金が寄せられました。ご厚志に感謝申し上げます。

